社会　「指導者用デジタル教科書（教材）」を用いた授業展開例

中学校 第１学年
社会科（地理）学習指導案

埼玉県さいたま市立与野西中学校
教諭 渡邉 涼太

単元名	第２編 第２章　アフリカ州（３時間）
単元のねらい	●アフリカ州は、人口問題や食料問題といった地球的課題が地域的特色と結びついて顕在化していることを理解し、そのような課題がみられる要因を、主に産業や歴史的な視点から考察し、表現できる。 ●課題解決に向けた動きに着目し、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる地球的課題を主体的に解決する態度を養う。
本時のねらい	●アフリカ州には豊富な鉱産資源に恵まれた国がみられ、それらの輸出に頼るモノカルチャー経済から抜け出す努力を続けていることを理解する。 ●アフリカ州で豊富な鉱産資源を生かした産業の多様化が進まない状況について、自立へ向けてどのような工夫が求められているのか考え、表現できる。（第３時）
指導時期	10 月下旬 ～ 11 月上旬

指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

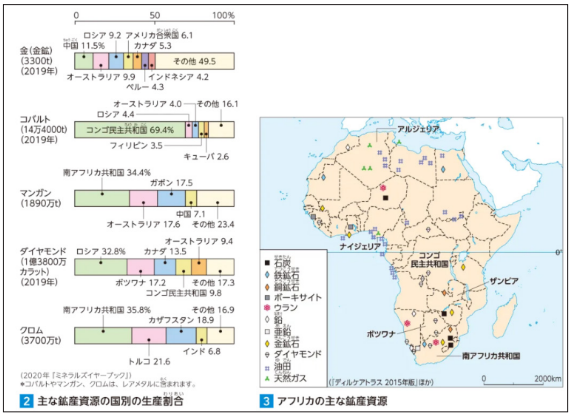
本単元では、人口問題や食料問題といった地球的課題がアフリカ州の地域的特色と深く関わっていることを捉えさせる。しかし、アフリカ州は日本から物理的・心理的な距離があり、生徒にとって課題を「自分事」として捉えにくいという実態がある。

そこで本時では、生徒の身近にあるスマートフォン等の製造に、アフリカ州の鉱産資源が使われている事実に着目させる。指導者用デジタル教科書に収録された景観写真や分布図、統計資料を提示することで、遠く離れた地域と自身の生活とのつながりを可視化して実感させ、学習への主体的な追究意欲を高める。

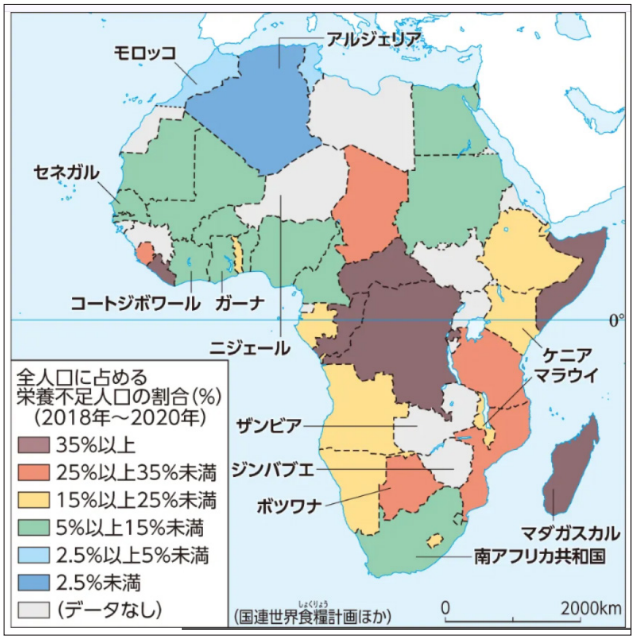
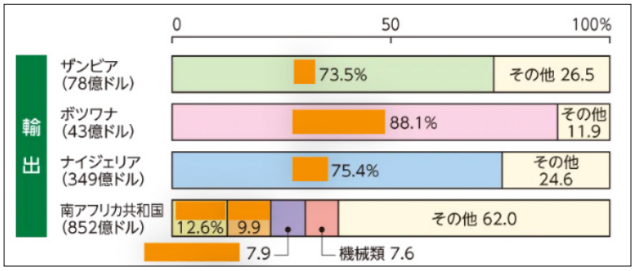
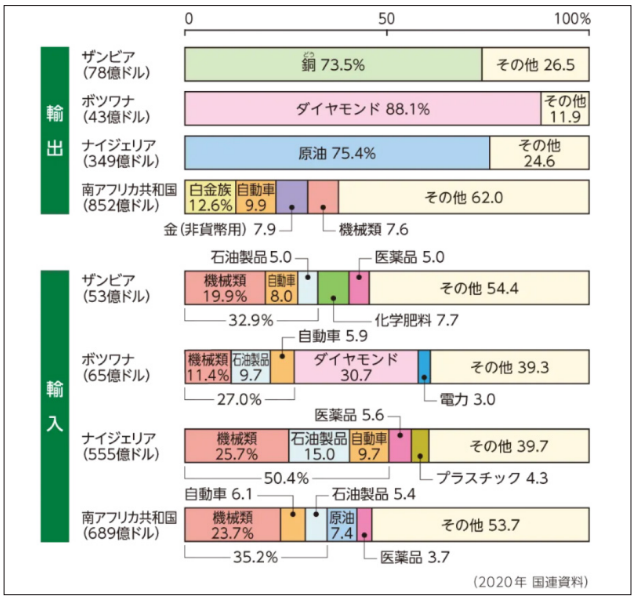
本時（第３時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 ●生徒の身近な電子機器は、どのようなもので作られているのか確認する。 T：みんなの周りにあるスマートフォンやタブレットを作るには、何が使われているのだろう？ S：ガラス S：金属 S：プラスチック	

©2026 KYOIKU-SHUPPAN CO.,Ltd.All Rights Reserved

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	● p.86資料１右がスマートフォンやタブレットに使われている原料を採掘している様子であることを伝える。 T：何を採掘しているのかな？ S：何かの鉱物 S：鉄 S：金	● p.86資料１右「金の露天掘りの作業の様子」を拡大表示する。 
	● p.86資料１左を見せ、露天掘りという方法によって金が採掘されていることを伝える。	● p.86資料１左「金の露天掘りの採掘場」を拡大表示する。 
	● p.87資料３を見せ、スマートフォンやタブレットに必要な鉱産資源がどこで採れるのかを白地図に記入する。	● p.87資料３「アフリカの主な鉱産資源」の「操作」から、スマートフォンやタブレットに必要な鉱産資源のみを凡例表示し、提示する。  ※白地図はツールバー＞教科コンテンツ＞白地図＞世界地図＞アフリカ州＞白地図からダウンロードし、あらかじめ生徒に配布しておく。
	● p.86資料２、p.87資料３から、アフリカ州には、現代の世界の産業を支える鉱産資源が豊富に分布していることを理解する。	● p.86資料２「主な鉱産資源の国別の生産割合」の「操作」から「関連資料」を使って、p.87資料３「アフリカの主な鉱産資源」と並置する。 

©2026 KYOIKU-SHUPPAN CO.,Ltd.All Rights Reserved

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	● p.81のハンガーマップを表示し、p.87資料3と比較し、資源が豊富であるにもかかわらず、全人口に占める栄養不足人口の割合が高い地域が見られることに気づかせる。	● p.81「アフリカのハンガーマップ」を拡大表示する。 
	本時の課題　なぜ、世界で必要とされる鉱産資源が豊富に分布するのに、アフリカの人々の暮らしは豊かにならないのだろうか？	
展開	● p.87資料4のザンビア、ボツワナ、ナイジェリア、南アフリカ共和国の輸出品目のうち、隠されている部分にどのような品目が入るかを予想させ、正解をワークシートに記入する。	● p.87資料4「アフリカの国々の貿易品目」の「操作」を提示する。 
	● p.87資料4の輸出入額や品目に着目し、各国にみられる共通性や差異を読み取らせ、その理由を考察する。	● p.87資料4「アフリカの国々の貿易品目」を拡大表示する。 
	● p.87資料4でみられるような特定の資源に依存している経済は、「モノカルチャー経済」と呼ばれることを伝える。	

©2026 KYOIKU-SHUPPAN CO.,Ltd.All Rights Reserved

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	●モノカルチャー経済になった歴史的背景について、p.78-79「ヨーロッパがアフリカに残したものは」やp.87「地理の窓」を読み、理解する。	●p.78-79「ヨーロッパがアフリカに残したものは」の本文を紙面拡大する。 **ヨーロッパの植民地支配とアフリカの独立** 18世紀後半以降、近代的な工業を発展させたヨーロッパ諸国は、アフリカを工業原料や農産物の生産基地とするため、直接植民地支配に乗り出しました。資料3の地図を見てみる ●p.87「地理の窓」を紙面拡大する。 **地理の窓　南アフリカ共和国とアパルトヘイト** かつて南アフリカ共和国は、白人の政権によって白人とそれ以外の人々を分離するアパルトヘイト(人種隔離政策)を行っていました。解放のための闘いや国際社会の批判によりこの政策は1991年に廃止され、1994年の選挙によって黒人中心の政権が生まれました。南アフリカ共和国は、アフリカの中でも資源に恵まれ、工業化も進んでいます。2010年にはサッカーの世界大会も開催されました。しかし、人種差別や白人と黒人の経済格差がまだみられ、大都市では治安の悪化が問題となっています。
	●P.87の本文「課題の解決と成長に向けて」から、現在のアフリカの様子と課題をワークシートにまとめる。	●p.87本文1を本文拡大する。 **課題の解決と成長に向けて** アフリカの国々は、EUをモデルとしてアフリカ連合(AU)という組織をつくり、各国に共通する課題の解決を目ざしています。また、長い間、援助の対象となってきたアフリカの国々が、人口増加と消費の拡大で巨大な市場としても注目されるようになりました。近年、経済成長が著しい中国などの国がアフリカ諸国に向けて投資を増やし、重要な貿易相手国になっています。いくつかの国では、モノカルチャー経済から抜け出そうと、産業を多様化する動きも進められています。 しかし、こうした国では、産業開発に必要な道路・鉄道、港湾などが整っておらず、高度な教育や訓練を受けた人材も十分では
まとめ	●本時の問いに対する自分の考えをワークシートに記入する。	

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

指導者用デジタル教科書を活用したことで、以下の3点の効果が得られた。

①鮮明な景観写真とそのズーム機能を活用したことで、生徒の興味・関心を引きつけるとともに、細部まで観察させることで生徒自らが新たな疑問や課題を発見するきっかけを作ることができた。

②分布図の「凡例別表示」機能を活用したことで、本時で提示したい鉱産資源の情報のみを選択・提示でき、生徒の視点を焦点化させることができた。また、必要な主題図を瞬時に提示できることもデジタル教科書ならではの魅力である。

③地図とグラフの「並置」機能を活用したことで、空間的な「位置・分布」と数値的な「割合・事実」を相互に関連づけて捉えさせ、双方の特性を補い合いながら多面的な理解を促すことができた。
日本との距離感があるアフリカ州だからこそ、デジタル教科書の機能を生かして空間的な概念と統計からわかる事実を往還させ、生徒の主体的な学びを引き出すことができた。

©2026 KYOIKU-SHUPPAN CO.,Ltd.All Rights Reserved